

H30 NNAP 第一弾

《農業用水の仕組みにせまる》

～水資源を作る、取る、配るためのしくみを学ぶ～

【概要】

- 日時 平成30年6月22日（金曜日）午前8：45～午後4：30
- 場所 南丹市日吉町「日吉ダム」、南丹市園部町「新庄頭首工」、南丹市八木町「上桂川統合堰」、亀岡地区幹線用水
- 参加者 府立農芸高校環境緑地科（農業土木コース）生徒10名 教職員2名
- 内容 土地改良施設の見学
- 主催 府立農芸高校、南丹広域振興局

6月22日（金）に府立農芸高校環境緑地科（農業土木コース）の生徒10名を対象に、南丹市や亀岡市にある農業用の土地改良（土木）施設を見学し、現場で働く人から技術を学びました。

今回は農業にかかせない水の運用について学習し、日吉ダムから新庄頭首工、上桂川統合堰、国営亀岡地区幹線用水まで、南丹管内の土地改良施設の仕組みや管理の技術を、運用を行っている土地改良区の役員や現場に携わっている職員から説明を受けました。生徒たちは、普段は近づけないダム操作室や揚水機場、除塵機の運転を間近で見ることができ興味深そうに観察していました。また、頭首工のゲート操作を体験し、農業土木技術への関心が一層高まった様でした。



日吉ダムについて所長から学ぶ



新庄頭首工で府職員からゲート操作について学ぶ



上桂川統合堰で上桂川用水土地改良区連合事務局長と記念撮影



国営亀岡地区幹線用水で揚水機について学ぶ